

施策マネジメントシート(2018年度の振り返り、総括)

作成日 2019 年 6 月 25 日

| | | | | |
|------|----|--------------|-----|----------------------|
| 基本目標 | IV | 豊かな心と文化を育むまち | 主管課 | 名称 生涯学習課 課長 河合 博市 |
| 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | 関係課 | |

| 施策の目的 | 対象 | 意図 | 基本事業 | 基本事業名 | | 対象 | 意図 |
|----------------|----|---------------------------------------|------|-------|--------|------------------------|-----------------------------|
| | | | | 1 | 2 | ①保存に携わっている人 ②町内の文化財 | ①積極的に保存活動を行う。 ②適切に保存される。 |
| ①町民 ②町内の文化財 | | ①文化財に対する意識を高め、保存と活用を行う。 ②適切に保存される。 | 基本事業 | 1 | 文化財の保存 | ①保存に携わっている人 ②町内の文化財 | ①積極的に保存活動を行う。 ②適切に保存される。 |
| | | | | 2 | 文化財の活用 | ①町民 ②町内の文化財 | ①文化財に関心を持つ。 ②広く周知される。 |
| | | | | 3 | | | |
| | | | | 4 | | | |

| | |
|---------|--|
| 施策の基本方針 | <ul style="list-style-type: none"> 文化資産の総合的な把握と計画的な保存を進め、町民に文化財や伝統芸能に触れる機会を創出することで、文化資産を身近に感じ、郷土に対する理解と関心を高めます。 町内に残る多くの文化財や伝統芸能を引き続き適切に保護・継承するとともに、町内に眠る未指定の文化資産の調査を進めます。 文化財施設とそこで行われる伝統行事を併せて保存するなど、文化資産の価値を高め活用につなげます。活用を行うにあたっては、その活用によって与える文化資産への影響を認識したうえで、関係各署と連携して広域的に検討を行います。 |
|---------|--|

| 施策の成果指標 | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度(H28) | 2017年度(H29) | 2018年度(H30) | 2019年度(R1) | 2020年度(R2) | 2021年度(R3) | 2022年度(R4) |
|---------|------------------|----|-----|-------------|---------------------|-------------|------------|------------|------------|------------|
| | | | | A | 地域の伝統芸能に参加している町民の割合 | % | 実績値 | 8.5 | 19.1 | 18.3 |
| B | 指定文化財の数 | 件 | 実績値 | 102 | 103 | 103 | | | | |
| | | | 目標値 | | 103 | 103 | 103 | 104 | 104 | 105 |
| C | 地域で継承されている伝統芸能の数 | 件 | 実績値 | 30 | 30 | 30 | | | | |
| | | | 目標値 | | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 |
| D | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |
| E | | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | | | |

| | |
|-------------------|---|
| 指標設定の考え方と実績値の把握方法 | <p>A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※あなたは日頃、文化芸術に触れ親しんでいますか。→「地域の伝統芸能(祭りや神楽、獅子舞など)に参加する」と回答した人の割合</p> <p>B) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 主管課で実数を把握 ※国、件、町の指定を受けている文化財の数</p> <p>C) 直接的な設問であり、数値が維持できれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 主管課が毎年保存会等代表者に直接聞き取り調査を実施</p> |
|-------------------|---|

| | |
|-----------|---|
| 目標値設定の考え方 | <p>A) 伝統芸能の本来の意味に賛同し、新たに継承に携わる人を確保するのは容易なことでは無い。少子・高齢化の進展により、携わる人が徐々に減少するのは必然と考える。しかし、前世より大切に継承されてきた伝統芸能を後世へ引き継ぐために、現地域での行事に参加するなどし、少なからず興味を示している町民を繋ぎ止める取り組みを進めることで現状維持を目指す。</p> <p>B) 経年とともに老朽化が進む文化資産を適切に保存できれば、現在の町内指定文化財 103件の維持ができ、そのうえで未指定の文化資産の調査を進め、最終年度までに2件以上指定することで105件にする。</p> <p>C) 教育委員会が把握している地域の伝統芸能(太々神楽・獅子舞等)は現在30件である。伝統芸能は一度絶やすと、復活が厳しのが現状です。いずれも後継者・財政面は厳しい状態ですが、補助金の有効活用や後継者育成に様々な工夫を凝らし、適切に保護することで、この30件を減らすことなく後世への継承を目指します。</p> |
|-----------|---|

| | | |
|---------------|---|---|
| 施策のための目的・目標達成 | <p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近にある地域文化や文化財に関心を持ち、その重要性を認識するとともに、保護・活用に協力する。 地域の伝統行事に積極的に参加し、後世に継承する。 | <p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物・史跡・美術工芸・天然記念物等の有形文化財を調査し保護・管理する。 後継者の育成を支援するなど、無形文化財の継承を推進する。 町民が郷土や歴史への認識を深められるよう、資料館の活用を図り文化財に関する情報提供・発信をするなど、普及啓発活動に取り組む。 文化財行政の枠にとらわれず、関係各署と連携して文化財の活用事業を展開する。 |
|---------------|---|---|

| | | |
|-----------|---|---|
| 施策を取り巻く状況 | <p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財の老朽化が進行している。今後定期的な補修していかなければならない。 人口減少や少子高齢化により、伝統芸能の継承者が減少し、後継者の育成が困難な状態となる。結果として伝統芸能の減少へとつながる。 文化庁は従来文化財の保護を重視してきたが、最近では活用にも力を入れ始めている。しかし、観光目的重視という理由ではなく、あくまでも文化財保護を前提に、その条件をクリアしたうえで観光等に活用するという考え方である。 | <p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <ul style="list-style-type: none"> 月夜野郷土歴史資料館の開館日を増やし、展示内容を工夫して欲しいとの要望がある。 文化財の修繕や備品購入の補助に関する要望が寄せられている。 予算的な措置と併せて、後継者の募集・育成などに協力して欲しいとの要望がある。 町の伝統芸能は各地域で数多く伝承されており、その伝統芸能を町内で発表する機会をつくる必要がある。 町内には、まだ多くの貴重な文化財が存在しており、町指定文化財の拡充を図って欲しい。 エコパークの指定や戦国ブーム・国指定絹織物産物など自然、歴史、文化等に対する興味・関心が高まっているなかで、文化財の理解・保存・活用が一層望まれる。 町には、多くの遺産が残っているが、展示施設や博物館が充実していないため、学ぶ機会を阻害している。 町の遊休施設を有効活用し、みなかみ町の文化財や歴史遺産を広く発信すべきである。 |
|-----------|---|---|

| | | | | |
|----|----|-----------|-----|----------|
| 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | 主管課 | 名称 生涯学習課 |
| | | | | 課長 河合 博市 |

| 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察 | 実績比較 | | 背景・要因 |
|---------------------|--|---|--|
| | ① 時系列比較 | <input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。 | ①地域の伝統芸能へ参加している町民の割合は、平成28年度以前は8～9%台であった。平成29年度に町民アンケートの設問内容に「鑑賞することも含む」を追記したことで、平成29年度19.1%、平成30年度18.3%と増加した。 また、羽場日枝神社の獅子舞が県指定文化財に格上げになるなど、地元の地道な継承活動により、地域に広く認知されたことも考えられる。 ②指定文化財数は、管理者を中心に地域の方々の協力のもと平成29年度、平成30年度と103件を維持できている。 ③地域で継承されている伝統芸能の数は、平成28年度から30件が維持されており、指定文化財と同様に地域住民の努力により大切に継承されている。 |
| | | ② 他団体との比較 | <input checked="" type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。 |
| ③ 目標の達成状況 | <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。 | ①地域の伝統芸能に参加している町民の割合 目標値の8.3%を大きく上回り18.3%であった。平成29年度中に町民アンケートの設問内容に「鑑賞することも含む」を追記した事が一番の要因と考えられる。 ②指定文化財の数 目標値の103件を維持できた。今後、概ね2年に1件程度の指定を目指している。文化財調査委員と連携し、地域に眠っている文化財の掘り起こしを継続していく。 ③地域で継承されている伝統芸能の数 目標値の30件を維持できた。 | |

| 基本事業の成果指標 | 基本事業名 | 成果指標名 | 単位 | 区分 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | | | | |
|-----------|-----------------|-------|-----|--------|----------|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|-----|-----|-----|
| | | | | | 1 文化財の保存 | A 文化財の保護活動者数 | 人 | 実績値 | 672 | 705 | 1,616 | | | | |
| | | | | | | | | | 目標値 | 650 | 640 | 630 | 620 | 610 | 600 |
| | B 適切に保存される文化財の数 | 件 | 実績値 | 102 | 103 | 103 | | | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | 103 | 103 | 103 | 104 | 104 | 105 | | | | | |
| 2 文化財の活用 | A 資料館の入館者数 | 人 | 実績値 | 1,164 | 960 | 1,009 | | | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | 1,050 | 1,000 | 950 | 900 | 850 | 800 | | | | | |
| | B 文化財の見学者数 | 人 | 実績値 | 68,331 | 21,684 | 26,470 | | | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | 22,000 | 22,000 | 22,000 | 21,500 | 21,500 | 21,000 | | | | | |
| 3 | A | | 実績値 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | | | | | |
| | B | | 実績値 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | | | | | |
| 4 | A | | 実績値 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | | | | | |
| | B | | 実績値 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 目標値 | | | | | | | | | | | |

| 今後の課題と取り組み(案) | 基本事業名 | 今後の課題 | 今後の取り組み(案) |
|---------------|----------|---|---|
| | 1 文化財の保存 | ①文化財は時代の経過と変化する社会情勢の中で、遺失・風化・管理者不足・老朽化等諸課題が懸念されている。計画的な保存と普及活動を進める必要がある。 ②伝統芸能・文化は過疎化や高齢化に伴う後継者不足、時間の経過による道具等の損傷により、その継承や保存は容易ではない。一度絶やすと再興が厳しいため、引き続き適切な支援が重要である。 | ①重点的な修繕を必要とする国指定重要文化財・旧戸部家住宅屋根改修事業は、国庫補助金が決定され次第事業に取り掛かる。 ②保存会活動に積極的な古馬牧の人形浄瑠璃、水上歌舞伎等については財政的・事務的な支援を行い、より確実な後継者育成・普及に努める。 ③伝統文化の保存・継承に向けた支援・助言を行う。 |
| | 2 文化財の活用 | ①文化財は保護を最優先に、一過性では無い恒常的な観光・学習資源として活用を図る施策が必要である。 ②町内5ヶ所の資料館は展示方法に変化が無く、今後展示替えを行う等工夫を凝らし、リピーターを含め多くの人に活用される資料館を目指す。 | ①町歴史ガイドの会や関係部署等と連携し、観光資源として文化財の活用を進める。 ②月夜野歴史民俗資料館の展示替えを最初の実施し、順次他の資料館についても検討を重ね、展示内容の充実を図る。 ③学校や町民に対し、パンフレットや資料の利用を促し、文化財への関心を高める。 ④利根商業高校の生徒と連携し、名胡桃城址の郭ごとのジオラマを作成。イベントで成果発表を実施、その後資料館等に展示し活用する。 |
| 3 | | | |

23_文化財の保存と活用

平成 30 年 8 月 8 日作成 (令和 元 年 6 月 5 日更新)

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|--------------|------------|-----------|-----------|--|---|--------------------------|-----|--------------|---|------------------------------------|--|--------|--------|----|
| 事務事業 | 000001 | 国指定文化財管理事業 | | ① 事務事業の内容 | | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | | 事業費 | 526,087 円 | | | | | | |
| 施策体系 | 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | | 文化財保護事業の中でも国指定文化財に限定した管理事業。現在、8件のみなかみ町指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。 | 町外へ積極的な視察・研修を行い参考とした。今年度は上野村黒澤家住宅、中之条町富澤家住宅の保存修理を視察して雲越家住宅保存修理の参考にした。 | 事業実績 | | | | | | | | |
| | 基本事業 | 01 | 文化財の保存 | | | | 主な文化財の見学者数(雲越家住宅・旧戸部家住宅) | | | | | | | | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 生涯学習 | 課 | 生涯学習推進 | 係 | ②事務事業の課題 | | ④今後の方針・課題解決策 | | | | | | |
| 事業期間 | 継続事業 ～ 年間 | | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 5 | 目 | 4 | 担当者専門性が要求される。そのため、調査、研究をしていく必要がある。 | 旧戸部家住宅の改修工事が急務であり、令和2年度より実施できるよう、参考事例の調査研究を進めていく必要がある。 | 平成29年度 | 平成30年度 | 単位 |
| | | | | | | | | | | | | 972 | 1,369 | 人 | |

平成 30 年 8 月 8 日作成 (令和 元 年 6 月 5 日更新)

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|----------------|------------|-----------|-----------|---|--|-------------------|-----|--------------|---|------------------------------------|--|--------|--------|----|
| 事務事業 | 000002 | 県指定文化財管理事業 | | ① 事務事業の内容 | | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | | 事業費 | 830,782 円 | | | | | | |
| 施策体系 | 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | | 文化財保護事業の中でも県指定文化財に限定した管理事業。現在、22件の県指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。 | 町外へ積極的な視察・研修を行い参考とした。今年度は高崎市榛名神社の保存修理を視察して子持神社・旧大庄屋役宅書院保存修理の参考にした。 | 事業実績 | | | | | | | | |
| | 基本事業 | 01 | 文化財の保存 | | | | 主な文化財の見学者数(名胡桃城址) | | | | | | | | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 生涯学習 | 課 | 生涯学習推進 | 係 | ②事務事業の課題 | | ④今後の方針・課題解決策 | | | | | | |
| 事業期間 | 継続事業 H ~ 年間 | | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 5 | 目 | 4 | 担当者専門性が要求される。そのため、調査、研究をしていく必要がある。 | 保存だけでなく活用も推進しなければならない。名胡桃城址のジオラマを制作し、資料館で展示する。 | 平成29年度 | 平成30年度 | 単位 |
| | | | | | | | | | | | | 18,093 | 22,140 | 人 | |

平成 30 年 8 月 8 日作成 (令和 元 年 6 月 5 日更新)

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|----------------|------------|-----------|-----------|---|--|-------------------------------|-----|--------------|---|------------------------------------|--|--------|--------|----|
| 事務事業 | 000003 | 町指定文化財管理事業 | | ① 事務事業の内容 | | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | | 事業費 | 1,382,464 円 | | | | | | |
| 施策体系 | 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | | 文化財保護事業の中でも町指定文化財に限定した管理事業。現在、73件のみなかみ町指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。 | 町外へ積極的な視察・研修を行い参考とした。今年度は雪国観光圏歴史文化WGを参考に河合家住宅のパンフレットを作成した。 | 事業実績 | | | | | | | | |
| | 基本事業 | 01 | 文化財の保存 | | | | 月夜野郷土歴史資料館見学者数(町指定文化財を展示している) | | | | | | | | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 生涯学習 | 課 | 生涯学習推進 | 係 | ②事務事業の課題 | | ④今後の方針・課題解決策 | | | | | | |
| 事業期間 | 継続事業 H ~ 年間 | | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 5 | 目 | 4 | 担当者専門性が要求される。そのため、調査、研究をしていく必要がある。 | 文化財保護法の改正により指定文化財以外の文化財の活用も必要になってきた。牧水事業で行った文学歌碑をさらに集成してパンフレットにまとめる。 | 平成29年度 | 平成30年度 | 単位 |
| | | | | | | | | | | | | 457 | 434 | 人 | |

平成 30 年 8 月 8 日作成 (令和 元 年 6 月 5 日更新)

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|----------------|-----------|-----------|-----------|---------------------------------|---------------------------------------|----------------|-----|--------------|---|---|---|--------|--------|----|
| 事務事業 | 000004 | 埋蔵文化財調査事業 | | ① 事務事業の内容 | | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | | 事業費 | 276,912 円 | | | | | | |
| 施策体系 | 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | | 埋蔵文化財包蔵地で開発が行われる場合に、事前に試掘調査を行う。 | 小川地内、石倉地内、湯原地内、月夜野地内の4ヶ所で遺跡の試掘調査を行った。 | 事業実績 | | | | | | | | |
| | 基本事業 | 01 | 文化財の保存 | | | | 埋蔵文化財包蔵地確認(照会) | | | | | | | | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 生涯学習 | 課 | 生涯学習推進 | 係 | ②事務事業の課題 | | ④今後の方針・課題解決策 | | | | | | |
| 事業期間 | 継続事業 H ~ 年間 | | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 5 | 目 | 4 | いつ、調査が必要になるかわからないため、常に調査研究を行い準備をしておく必要がある。また、出土遺物を資料館等で展示しなければならない。 | 太陽光パネルの大規模な基地新設が今後増える見込みであり、予算計上を継続する必要がある。 | 平成29年度 | 平成30年度 | 単位 |
| | | | | | | | | | | | | 42 | 45 | 件 | |

23_文化財の保存と活用

平成 30 年 8 月 8 日作成 (令和 元 年 6 月 5 日更新)

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|----------------|------------|-----------|---|--------|---|----------------------|--------------------|-----------|---|-------------|---|--------|--------|----|
| 事務事業 | 000005 | 文化財調査委員会事業 | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 666,595 円 | | | | | | |
| 施策体系 | 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | | | 文化財調査委員を招集し、文化財の保護と啓発普及のために調査委員と連携して文化財全般に関する調査研究を行う。 | 箕輪地区にある森下家文書の調査を行った。 | 事業実績 | | | | | | | |
| | 基本事業 | 01 | 文化財の保存 | | | | | 資料館(月夜野・水上・雲越)見学者数 | | | | | | | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 生涯学習 | 課 | 生涯学習推進 | 係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | | | | | | |
| 事業期間 | 継続事業 H ~ 年間 | | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 5 | 目 | 4 | 担当者専門性を高める。 | 文化財指定されていない戦争遺跡について、町民から活用の要望が出ている。社会情勢をふまえながら調査研究を行っていく。 | 平成29年度 | 平成30年度 | 単位 |
| | | | | | | | | | | | | 1,895 | 1,803 | 人 | |

平成 30 年 8 月 9 日作成 (令和 元 年 6 月 5 日更新)

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|--------------------|-------------|-----------|---|--------|--|--|--------------|-------------|---|--|--|--------|--------|----|
| 事務事業 | 000008 | 雲越家住宅保存修理事業 | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 8,985,600 円 | | | | | | |
| 施策体系 | 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | | | 国指定文化財の雲越家住宅において、昨年から今年にかけての積雪や風害により破損した茅葺き屋根の一部を修理する。 | 国補助事業により9月～3月に改修工事を実施した。また、文化庁調査官と協議して、屋根積雪が1mになった時点で除雪を行うという規準を設けた。 | 事業実績 | | | | | | | |
| | 基本事業 | 01 | 文化財の保存 | | | | | 工事出来高 % | | | | | | | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 生涯学習 | 課 | 生涯学習推進 | 係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | | | | | | |
| 事業期間 | 単年度のみ H 30 ~ 年間 | | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 5 | 目 | 4 | 豪雪地帯の建造物であり、文化財保護のため、次の冬が来る前に修理を完了する必要があり、同時に今後は同様の破損がないように、修理後の対応策を検討する必要がある。 | 除雪規準を遵守すると同時に、積雪による損傷以外の建物被害の点検を頻繁に行う。 | 平成29年度 | 平成30年度 | 単位 |
| | | | | | | | | | | | | - | 100 | % | |

平成 30 年 8 月 8 日作成 (令和 元 年 6 月 20 日更新)

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|----------------|------------------|-----------|---|--------|-----------------|---|--------------|-------------|---|----------------------------------|---|--------|--------|----|
| 事務事業 | 000001 | 月夜野郷土歴史資料館管理運営事業 | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 3,184,344 円 | | | | | | |
| 施策体系 | 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | | | 月夜野郷土歴史資料館の管理運営 | 上組地区を中心とした町づくり部会・議会総務文教委員と館内の状況を確認。展示替えの方向性を委員会で答弁した。 | 事業実績 | | | | | | | |
| | 基本事業 | 02 | 文化財の活用 | | | | | 来館者数 | | | | | | | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 生涯学習 | 課 | 生涯学習推進 | 係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | | | | | | |
| 事業期間 | 継続事業 H ~ 年間 | | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 5 | 目 | 3 | 展示内容が閉館時よりほとんど変わっていないので、展示替えを行う。 | 早期に常設展示を縄文や主要遺跡を中心とした、分かり易く受けの良い展示に変更し、多くの人に町の歴史を楽しく知ってもらう。 | 平成29年度 | 平成30年度 | 単位 |
| | | | | | | | | | | | | 457 | 434 | 人 | |

平成 30 年 8 月 8 日作成 (令和 元 年 6 月 20 日更新)

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|----------------|-----------------|-----------|---|--------|----------------|--|--------------|-----------|---|--|--|--------|--------|----|
| 事務事業 | 000002 | 水上歴史民俗資料館管理運営事業 | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 968,692 円 | | | | | | |
| 施策体系 | 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | | | 水上歴史民俗資料館の管理運営 | 施設の老朽化に伴い玄関階段やタイル壁の修繕を行う。また、展示資料を中心に資料の整理等を行う。 | 事業実績 | | | | | | | |
| | 基本事業 | 02 | 文化財の活用 | | | | | 来館者数 | | | | | | | |
| 根拠 | 無 | 組織 | 生涯学習 | 課 | 生涯学習推進 | 係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | | | | | | |
| 事業期間 | 継続事業 H ~ 年間 | | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 5 | 目 | 3 | 専門分野に関わることであり、担当者による研究が必要。また、観光部門との提携、より一層の展示内容の工夫が必要。 | 考古・民俗・自然の大分類にそくして「テーマ」をもった展示のリニューアルが必要である。 | 平成29年度 | 平成30年度 | 単位 |
| | | | | | | | | | | | | 972 | 1,006 | 人 | |

23_文化財の保存と活用

平成 30 年 8 月 8 日作成 (令和 元 年 6 月 20 日更新)

| | | | | | | | | | | | | |
|------------------|----------------|----------------|-----------|---|--------|----|--------------------------------------|-----------------------------|------|-----------|--------|----|
| 事務事業 | 000003 | 雲越家住宅資料館管理運営事業 | | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 619,401 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | | | | 雲越家住宅資料館の管理運営 | みなかみ町教育旅行者と連携して団体客の入り込みを行う。 | 事業実績 | | | |
| | 基本事業 | 02 | 文化財の活用 | | | | | | 来館者数 | 平成29年度 | 平成30年度 | 単位 |
| 根拠 | 無 | 組織 | 生涯学習 | 課 | 生涯学習推進 | 係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | | | |
| 事業期間 | 継続事業 H ~ 年間 | | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 5 | 目 | 3 | | |
| 地域住民の協力と観光部局との連携 | | | | | | | 展示資料等の整理するとともに、地元関係者や観光業者と連携した集客を行う。 | | | | | |

平成 30 年 8 月 8 日作成 (令和 元 年 6 月 20 日更新)

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|----------------|--------------|-----------|---|--------|----|-------------|--|------|-------------|--------|----|
| 事務事業 | 000004 | 永井宿郷土館管理運営事業 | | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 1,068,080 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | | | | 永井宿郷土館の管理運営 | 永井区との指定管理基本協定を締結し、リスク分担により消防設備と防災通報装置の修繕を行う。 | 事業実績 | | | |
| | 基本事業 | 02 | 文化財の活用 | | | | | | 来館者数 | 平成29年度 | 平成30年度 | 単位 |
| 根拠 | 無 | 組織 | 生涯学習 | 課 | 生涯学習推進 | 係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | | | |
| 事業期間 | 継続事業 H ~ 年間 | | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 5 | 目 | 3 | | |
| 指定管理しているため、基本的には展示内容等を含め永井区に委託している。 | | | | | | | 管理運営は永井区に | | | | | |

平成 30 年 8 月 8 日作成 (令和 元 年 6 月 20 日更新)

| | | | | | | | | | | | | |
|--|----------------|---------------|-----------|---|--------|----|----------------------------------|--|------|----------|--------|----|
| 事務事業 | 000005 | 県博物館連絡協議会参画事業 | | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 10,000 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | | | | 群馬県内における公設・私設資料館および美術館等の連絡協議会事務。 | できる限り総会・研修会等に積極的に参加することにより、他の資料館等と連絡調整体制を維持した。 | 事業実績 | | | |
| | 基本事業 | 02 | 文化財の活用 | | | | | | 入館者数 | 平成29年度 | 平成30年度 | 単位 |
| 根拠 | 無 | 組織 | 生涯学習 | 課 | 生涯学習推進 | 係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | | | |
| 事業期間 | 継続事業 H ~ 年間 | | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 5 | 目 | 3 | | |
| 専門的な学芸員(資料館・博物館専門員)がいないため、この業務を専属でできる職員がいない。 | | | | | | | 資料館の質を高めるために連絡協議会主催事業にできる限り参加する。 | | | | | |

平成 30 年 8 月 8 日作成 (令和 元 年 6 月 20 日更新)

| | | | | | | | | | | | | |
|---|----------------|----------------|-----------|---|--------|----|---|--|------|-----------|--------|----|
| 事務事業 | 000006 | 猿ヶ京関所資料館管理運営事業 | | | | | ① 事務事業の内容 | ③課題解決のため取り組んだ事、その結果 | 事業費 | 756,732 円 | | |
| 施策体系 | 施策 | 23 | 文化財の保存と活用 | | | | 猿ヶ京関所資料館の管理運営 | 猿ヶ京温泉地区活性化委員会に参加して、地元における猿ヶ京関所跡の位置づけを確認するとともに、今後の活用計画(資料館として一般公開を行う事等)を周知した。 | 事業実績 | | | |
| | 基本事業 | 02 | 文化財の活用 | | | | | | 入館者数 | 平成29年度 | 平成30年度 | 単位 |
| 根拠 | 無 | 組織 | 生涯学習 | 課 | 生涯学習推進 | 係 | ②事務事業の課題 | ④今後の方針・課題解決策 | | | | |
| 事業期間 | 継続事業 H ~ 年間 | | 会計 | 1 | 款 | 10 | 項 | 5 | 目 | 3 | | |
| 専門分野に関わることであり、担当者による研究が必要。また、観光部門と提携することにより一層の展示内容の工夫が必要。 | | | | | | | 資料館の建物自体が県指定の文化財であるため、周囲の関所跡とともに今後も県や地元と協議しながら保存活用を進める。 | | | | | |